

『学校クエスト ぼくたちの罪』

中村まるは / 作 童心社 Z913.8 / ナカ

これは、ぼくが体験した、とてもこわいゲームの話です。小学生モニターに選ばれた 5 人は、バーチャル空間でゲームに参加する。次々と襲いかかる恐怖、明らかになる秘密。5 人はついに自らの罪と向き合うことに...

『羊くんと踊れば』

坂井希久子 / 著 文藝春秋 913.6 / サカ

孤独死した祖父の遺体一面に残されていた女の名前と梵字の刺青。祖父の交友関係を探り始めた薫の前につきつき怪しい人々が現れる。祖父の遺体に残された謎を追う薫と、彼に好意をよせる翠。ふたりの探索と恋のゆくえは？

『知らないと損する遺伝子のヒミツ』

中原英臣 / 監修 洋泉社 467.2 / ナカ

遺伝子はどんなしくみで、遺伝子によって何が決まるのか？ 遺伝子の最新事情を取り上げ、それにまつわる病気や健康、寿命や結婚・恋愛の相性など、気になる話題を科学的根拠も踏まえて解説。

『カッシアの物語』

アリー・コンディ / 著 プレジデント社
933.7 / コン

人間の文明が滅びた後に再建された社会。それは役人がすべてを管理し、決定する社会だった。病気や不安や争いごとのいっさいない、健康で平和な社会のなかで、17 歳の少女カッシアは、真実の愛と選択の自由を求めて旅立つ...

『こころのつづき』

森浩美 / 著 角川書店
913.6 / モリ

結婚を控えた娘が知った両親の真実、愛犬を亡くした男の悲哀、義母の介護を続ける主婦の本音...。毎日を懸命に生きている人々の日常を丁寧にすくい取った、慈愛あふれる 8 つの絆の物語。

『復活の日 人類滅亡の危機との闘い』

小松左京 / 原作 ポプラ社 Z913.8 / コマ

2009 年、ヨーロッパで流行し始めた「悪魔風邪」は、驚異の感染力で瞬く間に世界中に広がり、やがて人類は死滅した。南極にいた約 1 万人を残して...。人類滅亡の恐怖と人々の勇気を描く。

『14 歳の生命論 生きることが好きになる生物学のはなし』

長沼毅 / 著 技術評論社 Z460 / ナガ

なぜ自分は生まれ、なぜ生き、なぜ死ぬのか。「新世紀エヴァンゲリオン」や「鋼の錬金術師」など、有名なアニメや漫画に登場するキャラクターをベースに綴る、21 世紀の「生命論のススメ」。

『永遠（とわ）をさがしに』

原田マハ / 著 河出書房新社 913.6 / ハラ

世界的な指揮者の父とふたりで暮らす、和音 16 歳。そこへ型破りの「新しい母」がやってきて...。母と娘の愛情、友情、初恋。そして家族の再生物語。

